郡伊
種貞作
曲貞画
九編下

文曲縁
九編上
歌豊国画

由縁
九編上
豊国画

其由縁鄙俤 第九篇 上冊

若菜の上

柳下亭種員作

奔蝶樓國貞画

笑書家版

此書を綴經初の頃或人來りて示諭やう〳〵山路のこゝ
樵夫小問〳〵海底のこの泉郎小尋〳〵壁言諭小もの小糯粧い餅師源氏を擬し
牌史を作らゞ先皇朝學の大人連小よりて彼物語の深意を解〳〵後小
著述をせゝものこゝ小至理と兼諾おゝ近世の風義小てかゝる草帝を
發兒を小季子候を惡小事小おゝれい銀王不斷是を催促其注解を微細な
聽べき隙閒を更小えを覽東無も案阜小向前原書小監考湖月抄
編加〳〵る卷の名小若菜小緑語の畑水練筆支勝てこゝつゝれい
樵夫小路を尋べき奥郡の山中小宗入法師ゞ籠る條海の底を問と
いゝ泉郎を吟ぞる真柴ゞ句も漸近つく程よそ有りゝ

嘉永癸丑初月

柳下亭種員記

若菜上
雲井烈氏仲

赤松
柏之助

つぎ
みつらうん
郡

修験者 平仲院

馬

桂

川治郎の首級
修験者平仲院
清統の首級

同行集
名所絵

滑稽富士詣

仮名垣魯文戯作
歌川芳虎画

地本繪草紙問屋 照降町 笑壽屋庄七梓

郡伊
種貞作
曲貞画

九編下

兵法
縁都偉第九編

祇園貞作

下集

錦昇堂文庫

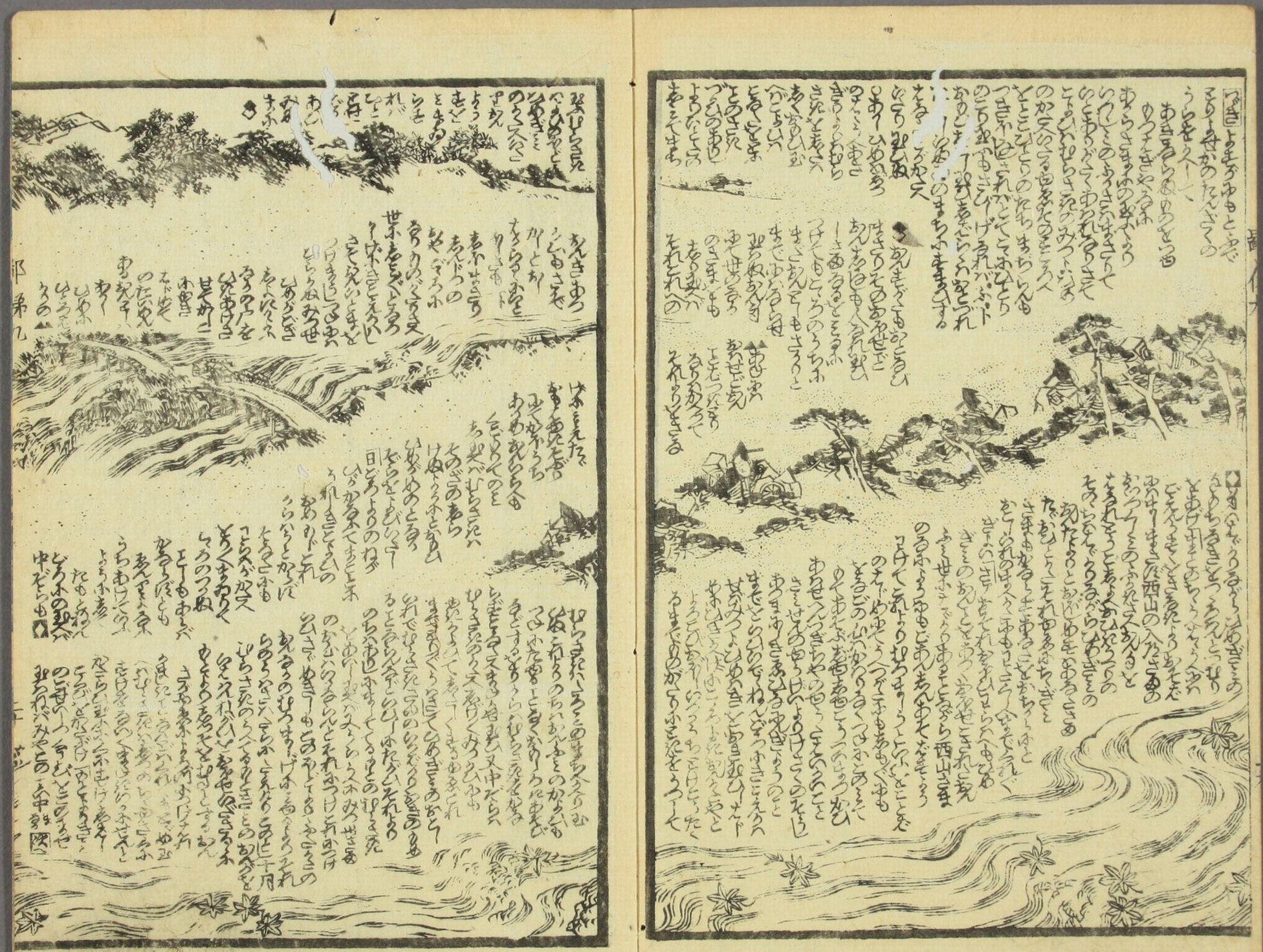
明石姫
里下
の体
其話
解は次に
見へたり

四

三のまき

紫
四の巻へつづく

千



稲妻形
怪鼠標
子七編

柳亭西馬稿
曾文作
國明画

其由縁鄙俤 一ト編 梗彦作 二十一編 二十二編 國貞画

十勇士尼子の礎 五 雅 曾文作 六 編 芳虎画

雨夜鐘四谷雑談 九 編 曾文作 十 編 芳虎画

比奈乃都大内譚 三 編 梗彦作 四 編 芳虎画

地本問屋 江戸くりや町 あひすや 庄七 版元

新刻
墨鄙乃傳
合五
第九編
種員作
國貞画
彩畫堂